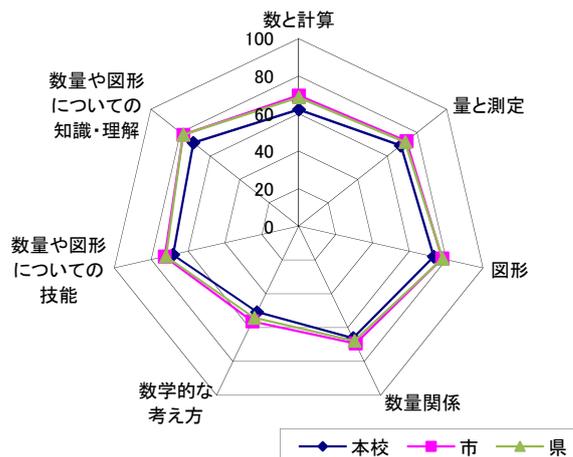


# 宇都宮市立陽南小学校第4学年【算数】分類・区分別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	62.2	69.6	68.7
	量と測定	69.0	72.8	72.0
	図形	73.2	77.8	78.0
	数量関係	66.1	69.4	67.8
観点	数学的な考え方	50.8	56.3	54.2
	数量や図形についての技能	68.2	72.7	72.0
	数量や図形についての知識・理解	71.3	78.2	78.1



## ★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○あまりのあるわり算(2位数÷1位数)で市や県の平均を10%近く上回った。</p> <p>●正答率は、市より7.4%、県より6.5%も低く、既習内容の理解が不十分であった。</p> <p>●小数や分数の仕組みの理解が県や市と比べて特に低く、10%以上下回った。</p> <p>●余りを切り上げて処理する問題や文章問題から理由などを説明する問題で、正答率が50%を下回った。論理的な思考力にも課題が見られた。</p>	<p>・少人数指導や習熟度別学習などを効果的に活用して個別支援の充実を図るとともに、計算ドリルや補充プリントに繰り返し取り組み、数や計算の基礎的な知識・技能を一人一人しっかり身に付けさせたい。</p>
量と測定	<p>○時間や長さの単位の理解を見る問題では、市や県平均を下回ってはいるが正答率が85%を超え、概ね理解できている。</p> <p>●正答率は、市より3.8%、県より3%低かった。</p> <p>●はかりに示された重さを読み取る問題や文章問題を解くために除法の式を立て正しい答えを求める問題で市と県の平均より10%以上下回った。</p> <p>●電車とバスの乗車時間を求め比較する問題では、県平均を若干上回っているものの正答率は32.9%と低く、応用力・思考力に課題が見られた。</p>	<p>・朝の学習や関連する単元の授業の時間などを用いて、時刻と時間の違いや時間の求め方、はかりの読み取り方などの補充プリントを使った復習に取り組み、基礎的な知識・技能の定着を図っていききたい。</p>
図形	<p>○円の直径や二等辺三角形の定義についての問題では正答率が80%を超え、概ね理解できていた。</p> <p>●正答率は、市より4.6%、県より4.8%低かった。</p> <p>●正三角形を作図する問題では、正答率が市を7.7%、県を7.1%下回り、課題が見られる。</p>	<p>・朝の学習や関連する単元の授業の時間などを用いて、三角形や円・球の定義や作図の仕方などの補充プリントを使った復習に取り組み、基礎的な知識・技能の定着を図っていききたい。</p>
数量関係	<p>○□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶ問題では、正答率が50%は下回ったものの、市や県の平均を10%以上上回った。</p> <p>●正答率は、市より3.3%、県より1.7%低かった。</p> <p>●特にわり算の理解が甘く、わり算の文章問題を表した図を選ぶ問題やわり算の式を立てその式から答えを求める問題では、正答率が市平均を10%以上下回った。</p>	<p>・朝の学習や関連する単元の授業の時間などを用いて、わり算や□を使った式などの補充プリントを使った復習に取り組み、基礎的な知識・技能の定着を図っていききたい。</p> <p>・文章問題の時の図のかき方やそれから立式するときのこつ、何算になるか考えるときのキーワード、□を使った式の立て方や解き方などを、授業中の折に触れ繰り返し指導していく。</p>